

タイキシャトル

23,676票



1998年 安田記念 (GI)

世界の扉を開いた最強マイラー

史上初めて短距離路線中心の馬としてJRA賞年度代表馬を受賞したタイキシャトル。そのデビューは3歳4月と遅かったが、そこからはまさに快進撃だった。ダートのユニコーンSで重賞初制覇を果たすと、スワンS勝ちから11月のマイルチャンピオンシップ、12月のスプリンターズSと連勝し、早くも短距離界を制圧。この両GIの連勝は史上初の快挙で、いずれも好位から抜け出して突き放す、呆れるほどの強さの圧勝だった。

4歳を迎えた翌1998年。タイキシャトルの目は海外に向けられた。始動戦の京王杯スプリングCはコースレコードでの快勝。続く安田記念は一転、降り続く雨でひどい不良馬場の一戦となったが、日本よりはるかに馬場が重くなることも珍しくないフランスへの遠征を控えた同馬にとっては、絶好の試金石となった。

好位集団でレースを進めたタイキシャトルは、勝負どころから徐々に進出。直線、香港のオリエンタルエクスプレスが好位から抜け出して先頭に立とうとするところへ、降りしきる雨を切り裂くように後方か

ら襲いかかっていく。そのままねじ伏せるようにかわし、さらに2馬身半突き放したところがゴールだった。

その次走、フランス伝統のマイルGIジャックルマロワ賞で、タイキシャトルはサセックスSを勝っているイギリスのアマングメンを半馬身下して優勝。シーキングザパールのモーリスドゲスト賞制覇に続く2週連続の勝利は、日本馬の力を海外に知らしめるものとなった。

帰国後のマイルチャンピオンシップも制したタイキシャトルは、その年のJRA賞年度代表馬を受賞。先述の通り、マイル以下の距離を主戦場とする馬の受賞は史上初。タイキシャトルはアメリカ産馬だが、外国産馬の受賞もまた史上初だった。

種牡馬としてもメイショウボーラーやウインクリューガーを出し息長く活躍したタイキシャトル。1999年には顕彰馬に選出されている。

第48回 安田記念 (GI)

1998年6月14日 東京競馬場 1600m(芝・左) 雨・不良 17頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	タイキシャトル	牡4	58	岡部 幸雄	藤沢 和雄	1:37.5	①	④⑥
2	オリエンタルエクスプレス	騾5	58	D.ホワイト	I.アラン	2 1/2	⑧	②②
3	ヒロデクロス	牡6	58	吉田 豊	大久保洋吉	2	⑦	⑦⑤
4	ロイヤルズカ	牡5	58	南井 克巳	橋田 満	ハナ	⑫	④②
5	アライドフォーシズ	牡5	58	横山 典弘	S.ピンスルー	1/2	③	②②

タイキシャトル Taiki Shuttle

1994年3月23日生 牡 栗毛

父: Devil's Bag 母: Welsh Muffin 母の父: Caerleon
生産: 米・Taiki Farm 馬主: 有限会社大樹ファーム
通算成績: 13戦11勝(うち海外1戦1勝)

主な勝ち鞍

- 1998年 マイルチャンピオンシップ(GI)、ジャックルマロワ賞(G1)、安田記念(GI)、京王杯スプリングC(GII)
- 1997年 スプリンターズS(GI)、マイルチャンピオンシップ(GI)、スワンS(GII)、ユニコーンS(GIII)



1998年ジャックルマロワ賞(G1)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
3位:タイキシャトル(23,676票)

1^位 ウオッカ 31,379票



2009年の勝利は鮮烈であった。直線、他馬で前が塞がったものの残り150mで前が開くと一気に加速。ひとつ下のダービー馬ディープスカイを3/4馬身差し切って連覇を飾った。

2^位 グランアレグリア 25,329票



2020年の覇者。圧倒の人気のアーモンドアイを完封、2馬身半差をつける勝利を飾った。グランアレグリアは芝のマイル戦では通算10戦7勝。うちGIは5勝。

4^位 オグリキャップ 17,273票

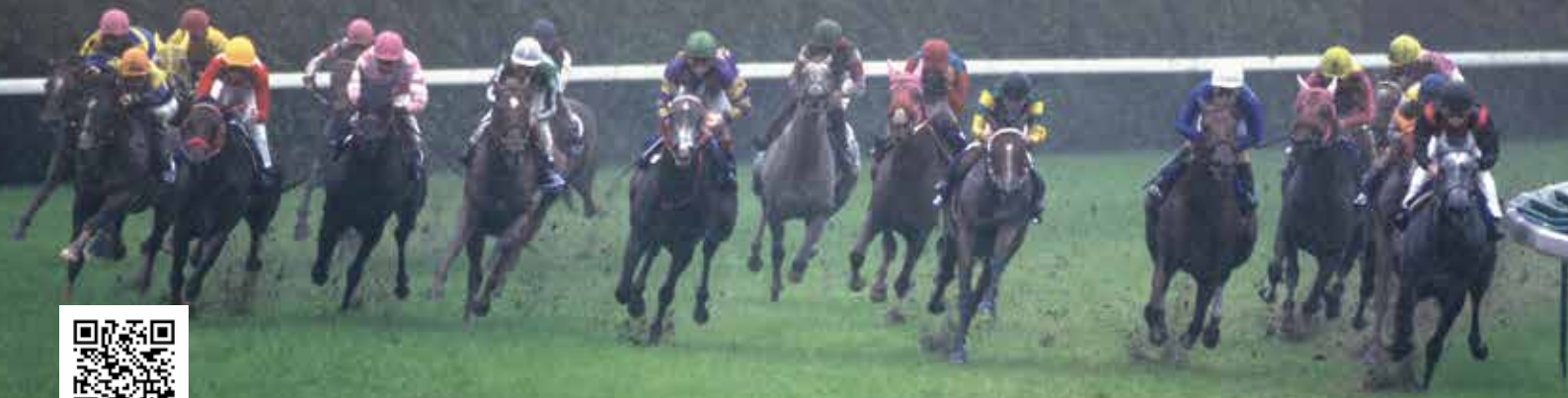


1990年の本競走を、当時の記録タイムで勝利したのが本馬。単勝オッズ1.4倍の圧倒的人气に応えてのものだった。鞍上はここが初コンビとなる武豊騎手。

5^位 ジャスタウェイ 12,535票



2014年の優勝馬。前走のドバイデューティフリーでコースレコード&圧勝を飾った本馬が、今度は不良馬場の中、グランプリボスをハナ差捻じ伏せる力強い競馬を見せた。



特設サイト

同一の競走馬が複数のレースで1位となった場合、その競走馬は最も多く票を獲得したレースの「メモリアルヒーロー」といたします。その他のレースにつきましては、2位以下となった競走馬から得票数の多い順に繰り上げとなります。(同一の競走馬が複数レースの「メモリアルヒーロー」となることはありません。)